

H23 年度科学・技術関係予算概算要求 個別施策ヒアリング

【施策番号 24006：ライフサイエンスデータベース統合推進事業（仮称）（文科省）】

- 1 日時：平成 22 年 9 月 16 日（木） 15:20～15:45
- 2 場所：中央合同庁舎 4 号館 12 階 共用 1208 特別会議室
- 3 聴取者：本席議員、奥村議員、相澤議員、青木議員
外部専門家 6 名（うち若手 2 名）
- 4 説明者： 情報・システム研究機構 ライフサイエンス統合データベースセンター
高木 利久 センター長
独立行政法人科学技術振興機構 門田 博文 イノベーション推進本部長
独立行政法人科学技術振興機構 菱山 豊 経営企画部長
独立行政法人科学技術振興機構 白木澤 佳子 参事役
文部科学省 石井 康彦 ライフサイエンス課長

5 施策概要

様々な研究機関等によって作成されたライフサイエンス分野データベースの統合化に向けて、必要な研究開発等を推進する。我が国におけるライフサイエンス研究の成果が、広く研究者コミュニティに共有かつ活用されることにより、基礎研究や産業応用研究につながる研究開発を含むライフサイエンス研究全体が活性化されることを目指す。

6 質疑応答模様

【本席議員】

人材育成等についてはどう対応しているのか。

【文科省】

次世代シーケンサの登場以来、バイオインフォマティクスの重要性は益々高まっている。このプログラム自体では人材教育はしないが、データベースの観点からデータベースを作る技術、有効活用する技術を通じて、人材を育てていきたい。具体的には、ポスドク、企業の SE の on the job training を通じて育つものと期待している。

【外部専門家】

資金配分についてはどうなっているか。

【文科省】

ファンディングは 2 種類。技術開発（大規模データや画像データの格納・検索等の高度な技術開発）と既存のデータベースの目的別での統合化。

【外部専門家】

JST と NII の有機的な統合あるいは重複排除が重要

【外部専門家】

農水省のDB等との関係は？重複にならないように。

【文科省】

各々維持していくものと移管されるものがある。整理して統合していく。

以上